

豊かな未来をとくしまから SDGs Action 2021 >>> 2030

私たちの徳島県で「他にはない、独自の価値」を活かし、SDGsに取り組む企業・団体の皆様をご紹介します。

弊社からお客様へ 地域へ広げるSDGs



2021年2月に代表取締役社長に就任された喜多真一氏

KITAKIKAI

喜多機械産業株式会社

本社 / 徳島市庄町三丁目16番地

TEL.088-631-9266

<https://kitakikai.co.jp>

SDGsの考え方は 弊社の社風そのものです

私は、社員に「機械を販売したり、メンテナンスをすることは全部手段だよ」と伝えていきます。すなわち、機械を売ることが目的ではなく、お客様や社員全員が喜ぶための手段としてそれがあるということです。

2013年の入社以来、売り上げや利益などの数字はあまり追ってきませんでした。本当にお客様に喜んでいただけたことをすれば、その結果として売上げがついてくるという考えです。会社としても社風として根付いています。さらに、事業による環境への悪影響が出ないように配慮した取り組みも行っていきます。そんな私たちの考え方がSDGsに合致したのだと思います。

働き方改革から、 「働きがい改革」に

さまざまなSDGsの取り組みの中で、今一番力を入れているのは目標8「働きがいも経済成長も」です。生産性を高めるベストな方法は、社員の好きなことをやってもらうこと。「やらされ感」があると、どうしても効率が良くなりません。そこで、働き方改革にとどまらず、弊社ならではの「働きがい改革」に力を入れています。

数年前、車高をリフトアップし、かっこよく塗装したトラック



(写真上)車高をリフトアップし、かっこよく塗装したトラック。このトラックに乗ることが働きがいを生み、整備士たちの顔はやる気と自信に満ち溢れています。

(写真右)ユニットハウスにトレーニングマシンを入れた「BULL BOX」の内部。会社の敷地内に設置することで健康経営につながります。



クを採用しました。すると、何も言わないのに若い整備士がトラックをきれいに掃除しているのです。まわりの人から「いい車に乗ってるな」と言っていた。トラックに乗ることが誇りになり、自分もその車にあった技術を身に付けなければいけないと前向きに仕事をするようになったのです。

トレーニングマシンを商材として扱うようになった理由も、社員の持っている個性を最大限に発揮できる事業展開を考えただからです。私はスポーツが好きで、地元のスポーツチームを応援しています。そのため、選手たちを何人が雇用していますが、「建設機械を今から勉強しろ」と言っても異業種のため難しい。そこで、彼らの知識や個性を生かすにはスポーツに関連したことが良いと始めました。スポーツ事業はコロナ禍やスポーツニースと相まって、弊社の新たな事業として期待されています。

目標は社員満足度 100点満点！

私の目標は、毎年実施している社員アンケートの点数を、2030年に100点にすることです。社員満足度が満点になった時には、会社全体の生産性も上がっているはず。また、社員も自主的に考えて、事業ごとにゴールを定めています。目標の達成を通して、弊社からお客様へ、地域へとSDGsが広がっていけば嬉しいです。



建設機械のグリスを100%生分解性グリスに変えることで、建設業界全体の環境意識向上を目指します。

私たちの
主な
取り組み

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

チャンスは男女平等！ 誰もが活躍できる職場に

男女だけでなく、国籍にもこだわらず、能力があれば採用し、役に職に登用する。その人の能力に合わせたお給料をしっかりと払う。さらに、職場改善などの要望はどんどん受け付け、実行していただくことで、働きがいのある職場づくりを推進しています。

5 ジェンダー平等を
実現しよう

8 働きがいも
経済成長も

安心安全な水と 自然エネルギーを 世界中に

被災地や開発途上国における小水力発電機による電力化や飲料水生成など、弊社の技術提供で安心安全な水と自然エネルギーを世界中に届けます。

6 安全な水とトイレ
を世界中に

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに